

第2期データヘルス計画の実施状況(中間評価)について

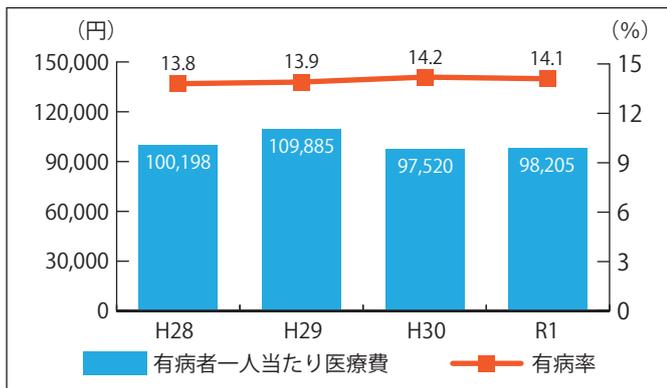
健康管理係
(082)513-4956

広島支部では、組合員の健康・医療情報を活用してPDCAサイクルに沿った効果的かつ効率的な保健事業の実施を図るために、平成27年度から平成29年度までを第1期として、保健事業の事業計画(データヘルス計画)を策定しました。第1期の取組内容等を踏まえて、改めて医療費や特定健診結果等を分析し、平成29年から令和5年度までを第2期として、データヘルス計画を策定しています。



今年度は、第3期計画の策定に向けて、第2期計画の中間評価を行いました。

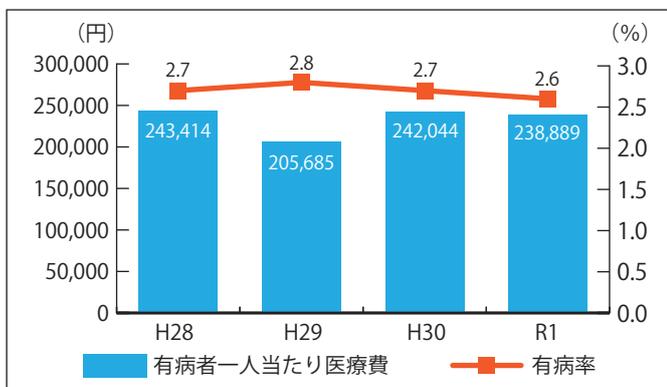
広島支部の生活習慣病における有病者一人当たりの医療費及び有病率



生活習慣病は一般的に健康リスクのない状態から急に発症するものではなく、生活習慣の積み重ねにより発症します。

当支部では、生活習慣病予防健診(人間ドック)の実施や健康情報の提供を行っています。

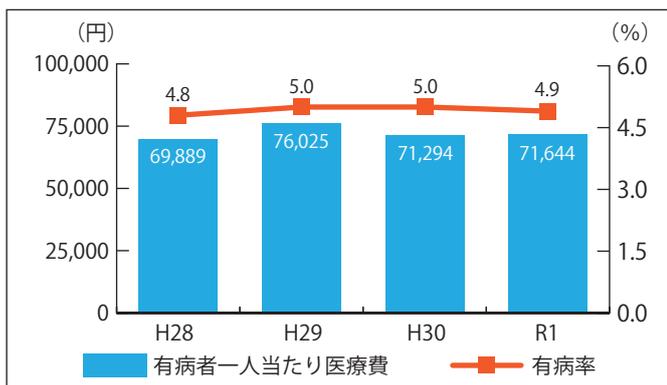
広島支部の悪性新生物における有病者一人当たりの医療費及び有病率



悪性新生物(がん)は、検診で早期に発見し、適正な治療を行うことで治ることも可能な病気です。

当支部では、がんの早期発見・早期治療のために生活習慣病予防健診(人間ドック)や器官別検診を実施しています。

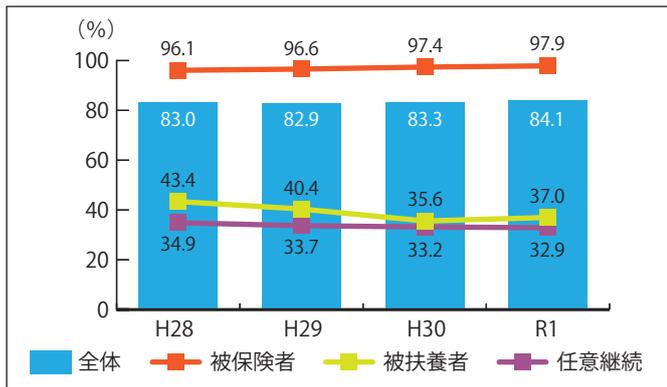
広島支部の精神の疾病における有病者一人当たりの医療費及び有病率



精神の疾病は、さまざまな要因が絡まって引き起こされるといわれています。メンタルヘルス不調を未然に防ぐための取組が重要となっています。

当支部では、セルフケアを推進するための知識の普及や専門的な相談窓口を設置しています。

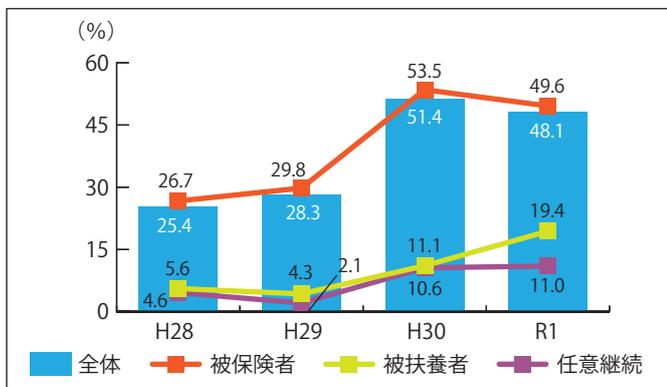
特定健康診査受診率の推移



特定健康診査は、メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）に着目し、生活習慣病の予防を目的とした健診です。

被扶養者、任意継続組合員の方の受診者数は年々減少傾向となっており、組合員と比較しても半数以下の受診率となっています。40歳以上の方は無料で受けることができますので、年に1回は、からだの状況を把握するために、ぜひ受診してください。

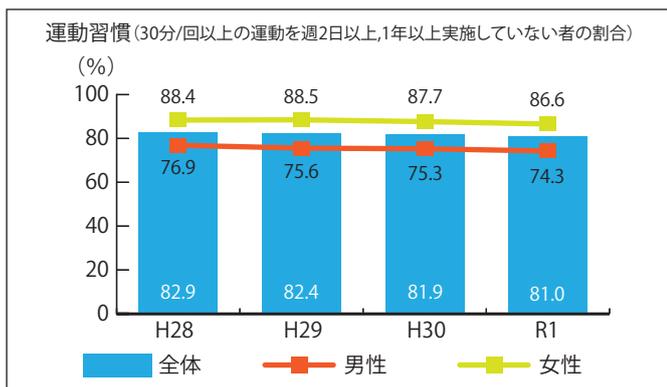
特定保健指導実施率の推移



特定保健指導は、生活習慣病の発症リスクが高く、生活習慣の改善による生活習慣病の予防効果を強く期待できる方に対して、医師・保健師・管理栄養士等の専門家が生活習慣を見直すサポートを行います。

当支部では、平成30年度から新たにICT（アプリ）による支援も開始したことで、実施率は平成29年度と比較し、全ての対象者において大幅に向上し、多くの方が生活習慣病の改善に対する取組を実施しています。

生活習慣の改善への取組（運動、飲酒習慣等）



運動習慣のある人は、虚血性心疾患や高血圧、糖尿病、肥満などの生活習慣などへの罹患率が低く、適度な運動はメンタルヘルスや生活の質の改善に効果をもたらすことが報告されています。

また、高血圧や高脂血症、高血糖には、過度な飲酒が関係する場合が多く、運動習慣や飲酒習慣などの生活習慣の改善は、生活習慣病予防のために重要な取組となります。

当支部では、毎年9月から12月の期間に、「健康づくり宣言」による組合員の健康の保持増進を支援する取組を実施しています。

